

概要版 景況リポート

尼崎市事業所景況調査 2025（令和7）年10-12月期

* 調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイル 景況調査



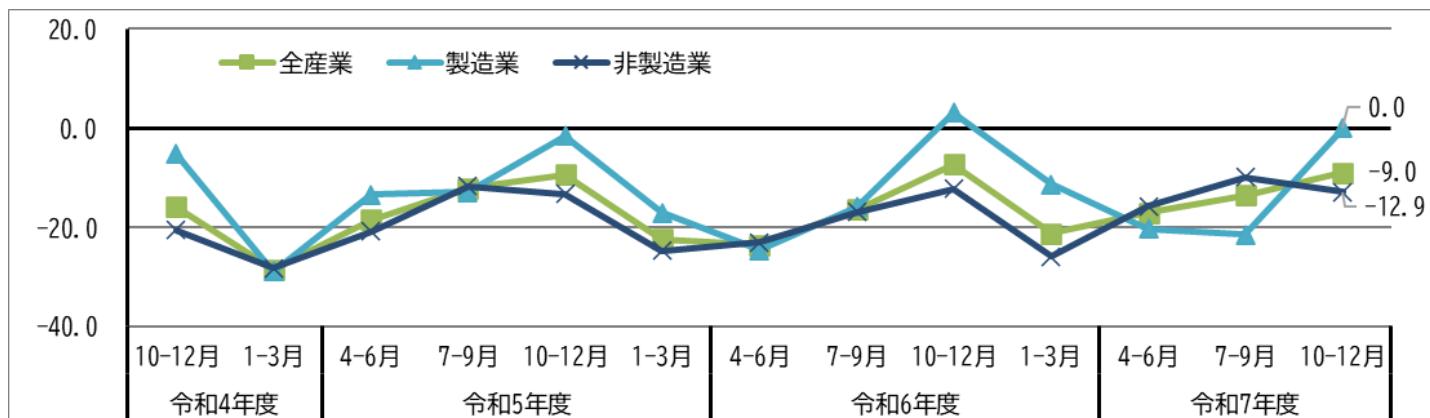
業況判断DIは全産業で改善、製造業は大幅に改善、非製造業で悪化

- ◆**製造業の規模別の業況**：大企業で大幅な改善、中小企業は改善。
- ◆**非製造業の業種別の業況**：卸売業で大幅な改善、建設業で改善、小売業、サービス業で悪化。
- ◆**出荷高・売上高・完成工事高**：全産業で改善、製造業は大幅な改善、非製造業は横ばい。
- ◆**部活動・クラブチームの運営**：「運営している」が2.9%。

◆業況判断（前期比）注（）内は前回調査との差を示します。

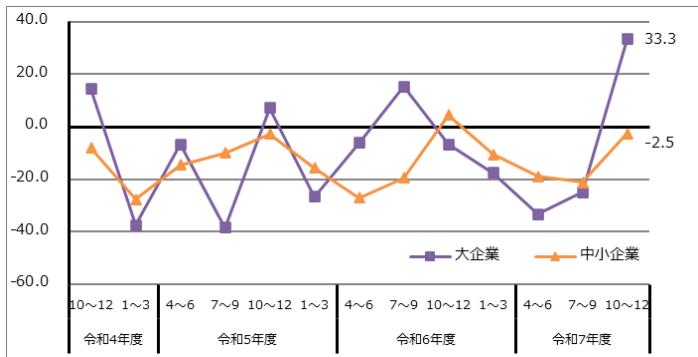
<全体>

業況判断DIは、▲9.0 (+4.6)で改善しました。業種別では、【製造業】は0.0 (+21.5)で大幅に改善、【非製造業】は▲12.9 (-2.9)で悪化しました。



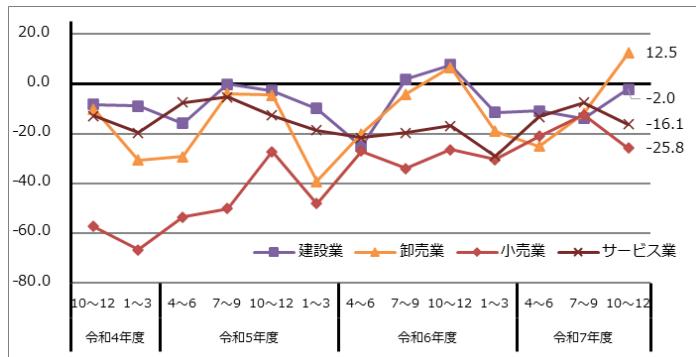
<製造業（規模別）>

【大企業】は33.3 (+58.3)で大幅に改善、【中小企業】は▲2.5 (+18.7)で改善しました。



<非製造業（業種別）>

卸売業は12.5 (+24.3)で大幅に改善、建設業は▲2.0 (+11.9)で改善、小売業は▲25.8 (-13.3)で悪化、サービス業は▲16.1 (-8.7)で悪化しました。



DIとは

景気動向指標 「ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）」の略。「好転」（または「上昇」「増加」「過剰」）と回答した企業の比率から「悪化」（または「下降」「低下」「不足」）と回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を測るための指標です

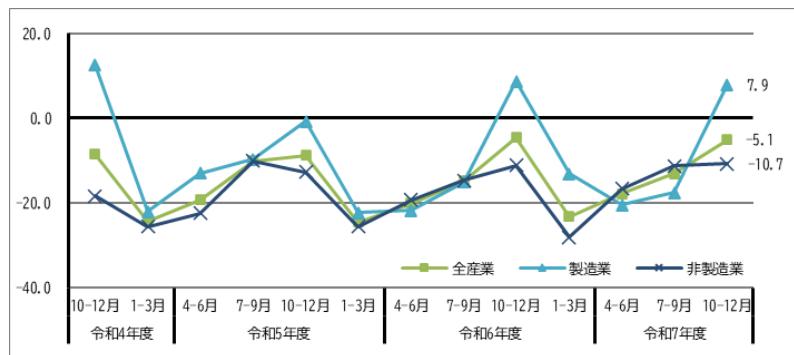


◆業界天気図

業種 項目	全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回業況判断DI値									
前回との差									

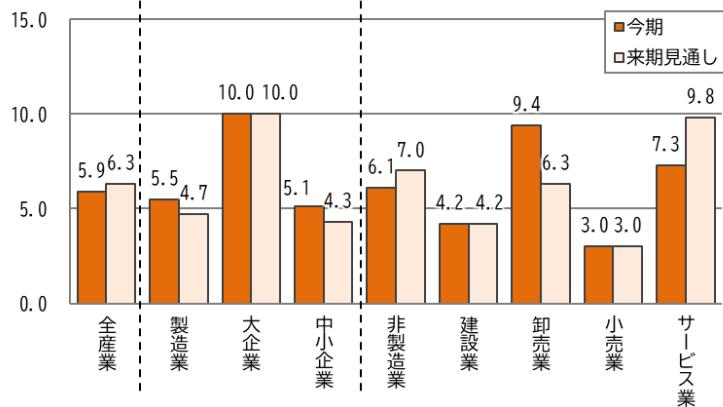
◆出荷高・売上高・工事完成高

- 出荷高・売上高・工事完成高 DI は、全産業で、▲5.1 (+8.0) と、改善しました。
- 製造業は 7.9 (+25.5) で大幅に改善、非製造業は▲10.7 (+0.5) と横ばいとなりました。



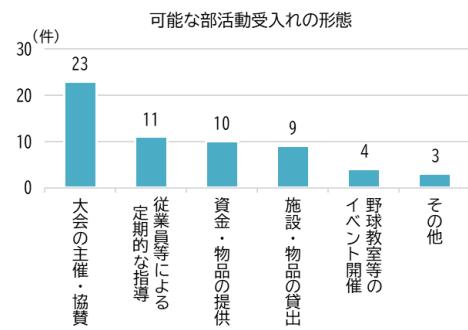
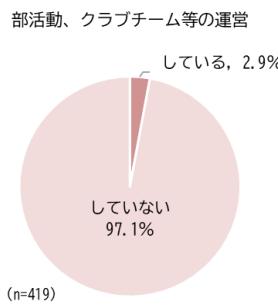
◆新規事業を実施した事業所の割合

- 全産業で 5.9%、製造業で 5.5%、非製造業で 6.1% でした。
- 製造業の規模別では、大企業は 10.0%、中小企業は 5.1% でした。
- 非製造業の業種別では、卸売業が 9.4% と 4 業種中最も高く、次いでサービス業が 7.3%、建設業が 4.2%、小売業が 3.0% の順となりました。



◆部・クラブ運営と中学校部活動受入れの可能性

- 部活動・クラブチームの運営について尋ねたところ、2.9%の事業所が運営しているという結果でした。
- 2028 年 3 月(令和 9 年度末)までに市内中学校部活動の「地域クラブ」移行に伴い、その受入について可能な形態を尋ねたところ、「大会の主催・協賛」23 件、「従業員等による定期的な指導」11 件等の回答がありました。



<本資料の問い合わせ先>

■尼崎市 経済環境局経済部 イノベーション推進担当
 ■(公財)尼崎地域産業活性化機構 OIC 推進室
<https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>

担当：南條・織田
 担当：宮崎・桂山

連絡先：06-6489-6675
 連絡先：06-6488-9534